66 期生

1 年生学年だより

豊中市立第五中学校　2017 年 6 月 19 日(月)　No.8

～校外学習・反省～

校外学習はたくさんの反省点を抱え終了しました。小さなものから大きなものまで様々です。班での活動は？電車の中では？ルールを守れなかった人の態度は？人が前でしゃべっている時の話を聞く側の態度は？座り方は？言われる前に行動できたのか？など。

みなさんが過ごすこの学校という場所は未来の自分のために共に勉強をする場所です。そのような場所で、周りのことなど何も考えず、自分のことばかり主張するようではこの先の６６期生の未来は決まっています。わがままな人が増え、ルールを守らない人が増え、遅刻が増え、授業中のおしゃべりも止まらず、成績にも影響し、結局それは何一つ自分達のためにはならない、そんな未来が待っています。“違いを認め合う”というのは決して“わがままを許してやろう”ということではありません。勉強、運動、歌う、描く、作文を書く、人と関わる、朝起きるなどなど、人それぞれの苦手なこと、得意なこと、その人の状況や性格を分かってあげるよう、理解してあげようというものです。その上で、お互い助け合おう、支えあおう、できない人には教えてあげよう、教えてもらえた人は素直に聞き入れよう、ということが“認め合う”ということなのです。何もかもが完璧にできる人はいません。かといって「自分はできないし、もういいわ」と開き直ってしまっては何の成長もありません。

みなさんは校外学習の日よりも“過去”を想像できますか？議員さん、体育委員さん、班長さん、班のために持ち物を用意してくれた人などなど、いつ、どれだけその人が時間と労力を使って頑張ってくれていたのか、この間一度でも考えたでしょうか。

みなさんはこれから先の“未来”を想像したことがあるでしょうか？中学校生活３年間がどのような３年間だったとしても、自分自身と向き合わなくてはならい時が必ず来ます。「まだ先の話だろう」と思っている人も多いかもしれませんが、結局、自分が３年間頑張ったことでしか自分の“未来＝進路”は選べないのです。

今、目の前にないものはとても想像しにくいものです。しかし、「考える」ことで他人の気持ち、痛み、喜びを知ることが出来る、過去から学び、未来のために今やるべきことを考えることができる。みなさんの持っている力というのはそういうものです。

みなさんはどのような 66 期生の姿を望むでしょうか？もう一度考えてみてください。